

おおはら

第6号

平成25年3月号

発行：大原自治振興会

甲賀市甲賀町相模 173-1

TEL 88-4101 FAX 88-3104

2年目の活動を終えて



大原自治振興会
会長 田中 勇

地域に密着した事業の推進へ

冬の厳しさを癒すように、緑が息吹いて草花の匂が薫る時期を迎えようとしています。

大原学区の皆様には、当自治振興会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

当自治振興会も設立後2年が経ちました。24年度は、「取組の精度を高めよう！」「実践力を高めよう！」を行動指針として、住みよいまちづくりを目指して取組んでまいりました。各部会活動も部会長のリーダーシップのもと、ほぼ計画通り事業を推進することが出来ました。また、部会活動のクオリティも高まってまいりました。

これからは、自分達のまちは自分達でつくる、自己決定・自己責任のまちづくりの時代です。当自治振興会も3年目に入りますが、さらに一步前進へ課題に挑戦する強い心と、変化を感じとる感性で地域に密着した事業の推進へ“自立”して活動出来る自治振興会を目指してまいります。

また、大原学区の皆様お一人おひとりが、自治振興会活動に関心を持っていただき、積極的に参画していただくことにより自治振興会は機能します。今後とも皆様方のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



～ シリーズ 大原の風景 ～ 大原ダム



南鈴鹿の山々に囲まれ、その清流を蓄え、下流の農地を潤す大原ダム。

昭和29年の完成から半世紀を経過し、平成20年度から改修工事が進められ、平成24年3月に完成しました。
(写真提供＝大原貯水池土地改良区)

人権を楽しく学ぶ

人権講演会



↑ 講師の交遊亭楽笑さん

2月16日(土)、かふか生涯学習館において、大原・油日・佐山学区の自治振興会が合同で人権講演会を行い、約80人の参加のもと、人権や人のつながりの大切さについて楽しく学んでいただきました。

落語家の交遊亭楽笑さんを講師に「つなげて ひろげる 縁結び ～いつも ところに 逢い・ラブ・遊～」と題した講演を行いました。講演では「いろいろな立場の人の人権」や「挨拶の大切さ」「人のつながりの大切さ」について手話も交えて、簡単に分かりやすく説明されました。

参加者は、講師の巧みな話術にひかれ、楽しく笑顔で人権について学ぶことができました。

部会活動

教育文化部会

子どもたちを 地域で応援する

子ども会 指導者研修会



↑ 交流会の様子

2月23日(土)、かふか生涯学習館において、『山内エコクラブ(土山町)』代表の竜王真紀さんを招き、子ども会指導者研修会を開催しました。

竜王さんは、エコクラブの活動事例として、高齢者の方から昔の生活の智慧を聞いたり、川の生き物調査をしたり、減農薬と有機肥料で地元農家の人と一緒に田や畑を耕作していることや、子どもたちによる創作狂言を行ったことを紹介されました。

研修会では、人と人との交流をすることが少なくなった時代だからこそ、地域が子どもにいろいろな体験をしてもらい、失敗から立ち直ることや、成功の喜びを味わってもらうことが大切であることを学んでいただきました。

講演後、2班に分かれて交流会を行い、子ども会の事業や運営で困っていること、好評だった事業などについて話し合いました。

大原小学校 118回目の卒業記念植樹

大原小学校では、6年生の児童が卒業前に大原財産区の山に植樹をします。植えた木は、大原財産区によって手入れされ、50~60年かかってようやく成木になります。3月5日(火)、118回目の卒業記念植樹が行われました。

50人の児童たちは、植樹の後、大原ダムを見学し、大原貯水池土地改良区の職員からダムの説明を受けました。大原自治振興会では、先輩たちから続く、この記念植樹を支援しています。



↑ みんなで記念撮影



↑ 植林作業



↑ ダム管理棟での説明

健康福祉部会

良い人生を支える 食と健康

→ 講師の大原興太郎さん



第3回健康教室

2月17日(日)、かふか生涯学習館において、地元櫛野出身で三重大学名誉教授・NPO三重スローライフ協会理事長の大原興太郎さんを講師に、「第3回健康教室」を開催しました。

大原さんは、元気で長生きをするには「自分のことは自分でする」「本当の楽をしたければ、辛くても筋肉を鍛える」、また、食べ物を選ぶことの大切さを「身土不二(しんどふじ)」という言葉で説明されました。その意味は、人の命と健康は、食べ物で支えられ、食べ物は土が育てるので、地域の旬の食材を食べることが大事であるとのことでした。

お茶の効用についても、お茶を飲み、運動をする習慣により、高血圧や糖尿病の予防と、血糖値の改善が図られるとアドバイスされました。

認知症を理解し 地域で支える



↑グループ討論の様子

認知症サポーター 養成講座

3月1日(金)、かふか生涯学習館において、認知症キャラバンメイト、地域包括支援センターの協力のもと「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

養成講座には、約30人が参加し、まず5つのグループに分かれ、「認知症は病気ですか」「認知症は治りますか」という質問について話し合いました。

グループ討議の後、「かふかの里」施設長の林さんから、認知症の症状、加齢による物忘れと認知症の違い、記憶の仕組みなどについて、実例を交えながら分かりやすく説明していただきました。また、早期発見・早期治療がポイントであり、そのためには地域の見守りや支えが必要であることを強調されました。

最後に、地域包括支援センターから市内の状況について説明がありました。特に甲賀町では、脳血管疾患が多いため、これを予防するには、若いときから、塩分を控えたり、油類のとり方を工夫したりすることが大切であると話されました。

生活環境部会

花いっぱいのにま



3月3日(日)、地域を花いっぱいになろうと、生活環境部員や役員が、春に咲くパンジーとピオラの苗を各区・自治会、甲賀駅、地域市民センターに80個ずつ配布しました。

春になれば、花が咲き地域が明るく、美しく、豊かになればとの思いで「花いっぱい運動」を展開しています。



↑花の受け取りの様子(甲南高校にて)

環境パンフレット作成

地域の環境の向上のためにパンフレットを作成、2月に全戸配布しました。

→愛犬、愛ねこのふん尿始末のパンフレット



→家庭ごみの野外焼却禁止を呼びかけるパンフレット



地域振興部会

自然・歴史・文化の クリアファイル作成

甲賀地域には、史跡や名勝などが数多く存在しています。それらを紹介するためにクリアファイルを作成しました。一度、訪ねてみてください。ファイルは3月に全戸配布します。

また、史跡・文化財の案内看板を5基立てる予定をしています。



郷(さと)だより



大原中区

大原中区では平成6年4月から、毎週日曜日に区周辺を1～2時間かけ、皆さんとお話をしたり、朝市でお買い物をしたり楽しく歩いています。



皆で歩いて健康づくり！！



↑ 新春初歩き(大鳥神社にて)

今年度は、夏には子供たちも参加して大原小学校付近に飛んでいる「ホタルの見学」、秋には少し足を伸ばして、寺田屋など伏見^{かいわい}界隈を散策し、歴史文化にふれた「一日健康ウォーク」、正月には健康祈願のため、大鳥神社に参拝する「新春初歩き」等を行い、皆さんと親睦を深めています。

「健康は足から」と、よく言われております。これからも自分の健康を保つため、皆さんと一緒に楽しく歩いていきたいと思っています。

拝坂区

拝坂区民の交流を兼ねたスポーツ大会！

11月4日に、鹿深夢の森でグラウンドゴルフ大会を行いました。

区民の親睦を図るために、今年も拝坂の体育部和自治会の役員が協力し、大会を運営しました。子どもからお年寄りまでが、大声ではしゃぐなどグラウンドゴルフに夢中になり、さわやかな秋のひとときを過ごすことができました。



グラウンドゴルフを楽しんだ後には、恒例になっている子どもたちの宝探しや豚汁も用意され、区民がそれぞれ楽しく交流するなど、拝坂の秋のイベントとして根付いています。



編集後記 ご愛読ありがとうございました。不慣れなものが携わり、あっという間に1年がたちました。今後も、この広報紙が発展することを願っています。
広報委員：奥村宇公、玉木幸一、藤澤幸代、吉田邦子